

た「親鸞聖人にまつわる」  
宝物を展示しました。

蔵本通支坊は、毛利悠先  
生に「子育て・教育・念仏」  
というテーマでお話を頂戴し  
ました。本当に大切なことに  
気づかせて下さるお話で、お  
参りした者が一回聞いて  
終わりにするにはあまりに  
もつたない、若い方はも  
ちろんもっとたくさんの方  
にも聞いてもらいたいお話で  
した。参詣者は先生のお話と  
酒のお接待を堪能しました。



宝物展の様子（長ノ木本坊）

## 香典返しを寄付する習慣

昨今のお葬式にみられる

香典辞退、即日返し等、現

代人の香典に対する意識も  
変わってきているようです。

香典とは、元々は仏さまへ

お参りする際にお香をお供  
えすることですが、実質的に  
はお金として、遺族にとつて

は急な物要り（葬式）の際  
の相互扶助の役割を果たして  
きました。

ところが時代は変わり、  
高度経済成長とともにサー  
ビス業が発達、お金で待つ

ていけばなんとかなるよう  
なってきました。これを背景  
に、香典辞退は、血縁による

支え合い（血縁）も地域によ  
る支え合い（地縁）も「必要  
ありません」もしくは「心

配いたくのは減縮です」と  
いう意思表示なのだろうと想

像しています。

しかし反面、その地域や

血縁による支えを自ら放棄  
し、また失ってしまった社会

は、たくさん孤独死を生み  
出すことになりました。さら

に私たちは終身雇用を失い、  
頼みの綱のお金の支えも失っ  
て全く孤立し、無縁死せね

ばならない時代を迎えていま  
す。

本来の意味

### 本来の意味

香典に限らず、お供えは  
本来仏さまにお供えする行  
為ですから、供えられる物は

仏さまの物で私たちの物では  
ありません（ここでいう仏さ  
まとは故人のことではありません）  
です。ですから仏法の論理  
からすると、仏さまに対する

### 香典返しと同済義会

その意味で、仏法の論理か  
らすれば、香典は世間的な

意味だけで判断せず、仏さ  
まからのお下がりとして、多

少なりとも世のため人のため  
に生かすといつことも大事に  
したいものです。例えばこの

辺の人は、香典返しを呉同済  
義会（社会福祉法人）に寄  
付してきました。この習慣は

一九三二（大正10）年、篤信

な門徒で呉市長も務めら  
れた澤原俊雄さん（1865〜1942）  
が、ご子息の四十九日に、社

会奉仕のためにと呉同済義  
会に寄付されたことにはいま  
ります。つながりを失い孤立

してゆく時代、香典を社会  
による支えに役立てるという  
のも案ではないでしょうか。

### 呉同済義会

〒737-0051  
呉市中央5-12-21  
（呉市福社会館内）  
TEL 0823 (21) 5395

## 誓子の日記

■皆さん、本当にお久しぶり  
です。この四月から長男慧は

高二に、一男学は中学に、三

男遊は六年生になります。長  
男慧は寝る子は育つで、お父  
さんの身長を追い越しま

した。お父さんを含め四人の  
食べる量は半端ではなく、ス

パゲティーkgが十五分でな  
くなりませう。■昨年七月、お

義父さん（前住職）が傘寿  
（八十歳）を迎えた時の話。

智恵さんが子供らに「傘寿の  
次は何て言うか知ってる？米

寿といふんよ。二男学が質問  
「じゃあページの次は何色？」

